

事前意見に対する対応方針

番号	意 見	対 応 方 針	参考
1	【地域見守り支援システムについて】 新規対象者だけでなく、問い合わせ時に「不要」と回答した方についても、定期的に見直しを行う予定はあるか。 高齢者の場合、半年程度で生活状況や支援ニーズが変化することがある。	令和7年度第3回住吉区防災専門会議における事前意見の対応方針でお示ししたとおり、「見守り登録に不同意」と回答された方に、次年度以降に改めて意向を確認する調査は行っておりません。 ただし、状況等の変化があった場合は、本人からの申し出により登録することが可能であり、その旨を介護事業所連絡会や自立支援協議会等にて周知しております。	吉城委員
2	【地域防災リーダーの活動について】 地域防災リーダーの平時の活動について示されたい。 当方では消防訓練への参加を町会長に依頼したが、参加不可とのことだった。	住吉区地域防災リーダー設置要綱では、①地域における防災知識の普及に関すること、②防災活動に必要な知識、技術の習得に関すること、③災害発生時における情報の収集連絡、初期消火、救出・救護、避難誘導、給食・給水等、災害応急対策に関すること、④その他、災害発生時に備えた予防等に関することが、活動内容として定められております。 また、地域防災リーダーは、当該地域の地域活動協会長の推薦を受けて住吉区地域防災リーダーに認定されております。	吉城委員

事前意見に対する対応方針

番号	意 見	対 応 方 針	参考
3	【防災協定の締結の提案】 京都府では、避難所等の清掃や消毒作業等の衛生サービス及び衛生資機材等の提供支援のため、ダスキンと防災協定を締結している。 住吉区においても、災害時の避難所の環境改善のため、同様の協定締結を検討されたい。	避難所等の清掃・消毒などの衛生サービスは、災害救助法の適用対象外のため、費用負担の問題などを検討する必要があります。 一方、衛生資機材については、西尾レントオール株式会社と災害協定を締結しているため、必要に応じてレンタルすることを想定しています。 いずれにしましても避難所の環境改善に向け、今後も物資の確保や協定の締結に取り組んでまいります。	吉城委員
4	【組立式簡易ベッドについて】 山之内では以前から、避難所である小学校にある長椅子を活用し、「1台で3役」の組み立て式コンパネベッドを訓練で組み立てている。 このベッドはコンパネ1枚分の費用で用意でき、①ベッド、②テーブル、③卓球台と3役に使用可能である。	住吉区役所のYouTubeでコンパネベッドの紹介をしており、今後とも訓練等を通じて、引き続き周知を進めてまいります。	佐伯委員

事前意見に対する対応方針

番号	意 見	対 応 方 針	参考
5	【こども向け防災訓練について】 苅田10丁目町会では昨年から、こども向けの防災訓練を実施している。新しい住宅が増えていることを踏まえ、地域の一時避難場所を知ってもらうことを目的に始めた。 今年度は参加者も増えており、今後も継続して実施していく予定である。	こども向けの防災講話は、保護者の方も含めて防災への関心を高める良い機会と存じます。 今後、貴町会の取り組みは、状況に応じて他の地域にも紹介してまいります。	高柳委員